



2022 年度 技術者継続教育「先進コース」講習会開催案内 《船用エンジンのトライボロジー》（オンライン講習会）

協賛：計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，日本機械学会
 予定 日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，日本トライボロジー学会，日本造船工業会，日本中小型造船工業会，日本船用工業会，日本内燃機関連連合会，日本陸用内燃機関連協会

1. 目的

マリンエンジニアリングに関わる技術者の諸問題等への対処能力向上のための技術者継続教育プログラムの一環として，専門知識を習得・応用することを目的としたセミナーです。「先進コース」《船用エンジンのトライボロジー》では，船用ディーゼル機関の開発，製造及び運転に関連するトライボロジー問題の専門知識について，接触可動部品の設計，損傷事例とその対策，潤滑と潤滑油の役割等，各専門分野の最前線でご活躍の方を講師に迎えて，2日間の講義を行うものです。

2. 対象者

本講習会は，ディーゼル機関の設計，製造，品質，据付，アフターサービス等のいろいろな局面に関わる技術者（入社10年程度）を対象にしています。講義内容は，船用ディーゼル機関のトライボロジー問題に関連する技術を幅広く網羅しており，ディーゼル機関メーカーの技術者を中心に，船用機器関連メーカー，造船所，船社等の技術者の方々にとって有益な講義内容となっております。

3. 参加方法

今般の新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ，講師との双方向「Live配信」（又は，「録画オンデマンド視聴」の選択も可）での講習会といたします。 ※ZOOMウェビナーを使用予定

4. 参加登録

・JIME ホームページ (<https://www.jime.jp/>) からお申込ください。

5. 定員

・20名。定員に達し次第，締め切ります。

6. 受講料

- ・正会員：20,000 円
- ・維持会員及び協賛団体所属の非会員並びに協賛学協会会員：30,000 円
- ・非会員：50,000 円

7. 開催日程等

| 開催形式 | 開催日 | 時間 | 講義題目 | 講師(敬称略) |
|---|-------------------|-------------|--|-----------------------|
| ZOOM ウェビナーを使用した「Live配信」(講義は「録画オンデマンド視聴」の選択も可) | 令和4年 12月15日(木) | 11:00～12:30 | トライボロジー要論 | 志摩 政幸 (東京海洋大学名誉教授) |
| | | 13:30～15:00 | 船用機器(軸受，歯車，カム・ローラ等)の損傷と解決策 | 永澤 秀明 (IHI 原動機) |
| | | 15:15～16:45 | 船用ディーゼル機関のリングライナ摺動の実際と信頼性向上技術 | 鶴飼 英実 (IHI 原動機) |
| | 令和4年 12月16日(金) | 09:30～11:00 | 流体潤滑と軸受 | 岩本 勝美 (東京海洋大学) |
| | | 11:15～12:45 | ピストンリングおよびクロスヘッド軸受の油膜・摩擦特性とトライボ損傷の防止策 | 北原 辰巳 (九州大学) |
| | | 13:45～15:15 | 船用2ストロークディーゼルエンジン油の組成とその機能(システム油，シリンダ油) | 田中 承允 (LUKOIL) |
| | | 15:30～17:00 | 船用4ストロークディーゼルエンジン油の組成とその機能(トランクピストン油，ガスエンジン油等) | 國頭 正貴 (出光興産) |

※ プログラム及び講義概要(シラバス)の最新情報はホームページ(<https://www.jime.jp/>)でご確認ください。

8. 特記事項

- ・受講者には科目ごとに課題を出題し，レポートを提出していただきます。受講者全員に履修記録を交付します。また，合格者には修了証を交付します。
- ・受講者へ規定のCPDポイントを付与します。CPDポイントについてはホームページ (<https://www.jime.jp/>) の「CPDポイント制度」をご参照ください。当学会会員は，取得ポイントも確認できます。
- ・一部の講義のみを受講することはできません。詳しくは，学会事務局までお問い合わせください。
- ・本企画は，技術者継続教育検討委員会で立案しました。ご不明の点がありましたら事務局にお問い合わせください。
- ・受講の申込者数が少ない場合には，開講を延期することもあります。

今年度の「先進コース」は，次の3カテゴリーを開催します。(オンライン講習会)

- ・《電気・パワーエレクトロニクス》……………令和4年11月17・18日
- ・《船用エンジンのトライボロジー》……………令和4年12月15・16日
- ・《推進装置の製造技術と金属材料の処理技術》……………令和5年01月19・20日